

浮洲公園での過酷な訓練

特



団長

石田隆信さん

よく頑張ってくれています。けがをせず大会をむかえてほしいものです。



副団長(監督)

池浦貴志さん

監督として選手の体調を管理し、選手と教官との絆を大切に9月の大会に向け頑張っています。



昼間は自分の仕事を持つ消防団員。仕事の疲れを癒す間もなく、毎週月・水・金ハードな訓練を行っています。ポンプ操法では、それぞれに与えられた役割を的確にこなしていかなければなりません。また、訓練には選手以外の団員のバックアップも必要となります。

*ポンプ操法の流れ

- ① 指揮者。審査班長に開始報告
- ② 指揮者の開始指示後、車両に乗車
- ③ 活動開始。1番員が火点付近でホース延長
- ④ 2番員ホース延長
- ⑤ 3、4番員、吸管を防火水槽に設定
- ⑥ 2番員 ホースを車両に結合
- ⑦ 1番員 管そうをホースに結合
- ⑧ 2番員 2本のホースを伸長し、1番員のホースに連結
- ⑨ 4番員に伝令「放水はじめ」
- ⑩ 4番員 放水開始
- ⑪ 1番員放水。3番員鳶(トビ)を携行
- ⑫ 2、3番員、第2線に延長
- ⑬ 2番員、放水
- ⑭ 消火活動完了(この後撤収、点検、終了報告)

*指導員

消防団の誇りを胸に

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部をはじめ訓練は、鞍手消防出張所職員全面協力のもと行われています。



指導教官
光安正幸さん

「県大会優勝が合言葉」大会は、一発勝負。すべてをそこに出せるよう教官として頑張ります。



指導教官
小川雅之さん

選手を中心に、監督、団長、消防団、そして教官3人と一致団結して二度とない熱い夏にしたいです!!



4番員
幸田陽介さん
第2分団団員



4番員
森永健一さん
第1分団団員

消防車の操作はすべて4番員の腕にかかっている。迅速かつ的確に操作しなければならない。

*大会へ向けて

練習はきついこともありますが、部活のような感覚でやっています。大会で悔いを残さないように頑張ります。

選手・指導教官・サポートしていただいた団員と力を合わせ、悔いの残らない内容になるよう頑張ります。

地域の安全・安心 頑張る消防団



消防団。それは住民の生命と財産を守るために組織されたボランティア集団。鞍手町では、168人の団員が昼夜を問わず活躍しています。そんな消防団の日頃の訓練の成果を競う大会が、2年に一度行われている福岡県消防操法大会。今年も宮若市・鞍手郡1市2町を代表して、鞍手町消防団が出場することになりました。日々、猛特訓を重ねる消防団員の頑張りを追ってみました。

福岡県消防操法大会とは

消防操法を錬成し、厳正な規律と迅速に的確な団体行動の向上を図るとともに、強固な消防の精神によって、火災防衛や消防への要求に適切できる消防団員の育成を目的に始められた大会。この大会は、自動車ポンプ操法の部と小型ポンプ操法の2種目があり、鞍手町は19の消防団が出場する自動車ポンプの部に出場します。



団員一丸となつて!!

* 出場選手



3番員
香月雄次さん
第1分団団員

最も走る距離が長い3番員。命令の伝達や第2線のホース延長など体力勝負。



2番員
楠本政孝さん
第1分団団員

2番員は、第1線の延長が終わると第2線の延長にかかる3番員に次いで走る距離が長い。こども体力勝負。



1番員
栗田智彦さん
第2分団団員

最初に火点を倒すのが1番員の役目。操法開始後、最も注目される。



1番員
平田裕貴さん
本部団員



指揮者
石松 守さん
第2分団副分団長

指揮者は、開始の報告から操法の監視、動作の指示、終了の報告と選手を取りまとめる重要な役目。

の意気込み*

プレッシャーという見えない敵に打ち勝つため静かな闘志を燃やす…。頂点(てっぺん)獲ってみせます!!

訓練で流した汗と仲間とバナナ?! それらの力を1つにして頑張ります。

9月9日の操法大会に向けて練習に一生懸命取り組んでいます。

悔いが残ることのないように一生懸命に取り組み、本番を楽しみたいと思います。

厳しい訓練ですが、みんなよく頑張っています。大会では火を噴くような操法をして上位入賞します。